

全国各地でおとり達が翔んでいます。〔各支部活動状況〕

So~o~いあいさつSo~o~

鵬友会会長 前田 敬一
全国四〇〇有余名の鵬友会会員の皆様におきましては益々活躍のことと思います。

皇室の慶事で幕を明けた今年は、我々会員にとっても、昨年の新学舎落成に引き続き、大学院の新設という大変喜ばしいことが待つ年でもあります。

一昨年は校名変更が始まり流通学科の新設、昨年の新学舎落成並びに華僑大学との交流協定締結、そして今年の大学院の新設と、母校はめざましい変革発展を遂げています。このような時を我々同窓会会員は決して見逃すことなく、強力な後押しをしていかなければならないと考えます。

現在の大学乱立の時代にあつて、個性と有理性のある大学のみが、後世に残されるのであり、そのような大学になるよう協力することを我々は期待されているのだと思えます。

母校に対するノスタルジックな感傷でなく、進歩発展は大学にとつても不可欠であるということを確認し行動する同窓会活動を目指さなければならぬと思えます。

【総括】

実施事項 ポーリング大会
日 時 日四年十一月二八日(土)
参加数 二十八名

- ①初めての試みであつたが、支部總會の他、年一回のレクリエーション活動を定着させ、会員相互の親睦を図りたい。
 - ②参加者は支部総会時とはかなり違い、家族カプセルもあり、又若い会員が多く、支部活性化の一つの方向と感じた。
 - ③反省として、活動前の会員との連絡コストが多。又、
 - ④往復葉書の回答率が低い、そして住所不明での未着が多い。
- 結果は往復葉書500枚、住所不明20%、出欠の回答15%、不出席5%。



ポーリング大会の様子

長崎支部

鵬友会連絡所の看板設置で輪を拡げる。

見ず知らずでも、県立大学の卒業生とわかっただけで、何となく親しみを感ずてしまふ。その素朴な気持ち、同窓会の原点ではないか。初めは同期のヨコのつながりから少しづつ先輩、後輩のタテのつながりへ、網の目のように拡がっていきば最高だ。実際は仲々そううまくはいかないが、無理をしても永続しない気もする。我が長崎支部も、年一回の総会、忘年会、新年会などの活動をしてきている。いつも話題になるのは、若い方の参加が少ないこと。そこで、同窓会のちよつとした情報、連絡の場をということで、「鵬友会連絡所仮称」というやさやかな看板プレートを張り出すことで計画を進めている。場所は、長崎県中央橋近くの食事の店「あじの竹の家」店頭である。同店は、四十五年度卒、松本健良さんが店主ということで、本健良さんが店主ということで、会員がよく出入りしており、その輪をもっと広げようと、松本さんに協力してもらつたことになったのだ。一人でも多くの会員が、プレートを見て、ちよつと「寄つて同窓会の話題などたずねてほしい」と願っている。

福岡支部

会員住所の把握で大きな手応え。

全国で活躍されておられる鵬友会の皆様、福岡支部活動状況をお知らせいたします。

支部長 古川信利(46年度卒)
0958-2516477 (自宅)



懇話会での懇話

平成四年十二月五日(土)長崎国際ゴルフクラブにおいて親睦ゴルフを開催。午前七時三十分スタートということでも少し肌寒さは感じたものの、毎回参加していただいている、前事務局長の浜田長崎県営バス社長、岡崎教授を交えて総勢十三名が日頃より鍛えた腕前を存分に発揮し、右に左に楽しい一日を過ごしました。コンペ終了後の表彰式を兼ねたパーティ(名ばかりの)では、榊原先輩にお願ひしるの景品は大変豪華で全員満足して帰りました。

関東支部

家族レクリエーションで活性化を図る。

本年の活動予定としては、六月下旬には支部総会及び親睦会の開催を計画、秋頃には親睦ゴルフをと考えておりますので詳細は追つてご連絡いたします。

支部長 浜辺千昭(46年度卒)
092-52413166 (会社)

鵬友会と野球部

野球部OB会は昭和五十年発足しました。当時は、まだ会員も少なくやりくりが苦労した記憶が残っています。従つて、現役に対する援助は充分でなかつたもの、そういう中で選手達は良く練習し期待を抱かせる年もありました。しかし、運悪く二・三回戦で強豪チームと対戦し涙を飲んだことが幾度となくありました。



また昨年はインカレで初優勝という夢のような快挙も成し遂げました。二年連続のこの快挙は、九州の主要校にとつて長崎県立大学を特別に位置づける目標校になっていると聞いています。

野球部OB会では、これらを記念してバッテリーマシンを寄贈する計画を進めています。しかしこれには多額の資金が必要ですがこれにも鵬友会は不足分の援助を約束してくれ、お陰で今春には永年の懸案事項を達成できそうです。選手諸君も努力していい結果を残せば充分報われることを痛感したことでしょう。

鵬友会役員の皆様には仕事の傍らの活動は大変なことだと思いますが、同窓生、学生のため今後益々の活躍を願う次第であります。

昭和四十五年卒 湯口 隆幸

佐賀支部

ゴルフプランは大丈夫か!

支部長 徳丸正雄(47年度卒)
045-97212392 (自宅)

否応なしに日々は過ぎ行く。今年も早や弥生。梅咲き、こぶし芽ぶき、やがて桜満開宣言。その頃になるともう数十回目かの母校「長崎県立大学」の入学・卒業式が挙行される。そのことは間違いなく我等同窓を育て、輩出するという喜ばしいセレモニーでもある。そのことの積み重ねで、いまや四十路半ばかりピカピカの二十歳

の同窓が、各人各様の実力で世界日本の各地で活躍中。嬉しい限りである。その情報の集中管理拠点同窓会。そう、たまにそこに集い、語らい人生のぬくみを肌で感じ、やさしく老いゆく。万事塞翁が馬。時に、人生の拠り所の一つに同窓会を加えていただきたい。しかし、歳月人を待たず……。ちなみに、ゴルフプランとは、高齢者の保健福祉推進対策のことであり、我々が直面する高齢化問題解決の為の処方箋。

今年六月最終土曜(6/26)と決定しており、又秋のレク活も定着させ会員相互の連携を密にしていきたいと思います。又在学生の女性増支部活動に女性会員が参加し易い様、次回は女性の役員を誕生させようと考えております。

今後五日五年の支部総会日程も六月最終土曜(6/26)と決定しており、又秋のレク活も定着させ会員相互の連携を密にしていきたいと思います。又在学生の女性増支部活動に女性会員が参加し易い様、次回は女性の役員を誕生させようと考えております。